

スマートハウス「since asuie（シンセ・アスイエ）」を発売 オリジナル技術でスムーズな「家とクルマの連携」を実現 ～家族がツナガル。未来とツナガル。～

トヨタホーム株式会社（以下トヨタホーム、名古屋市東区泉1-23-22、取締役社長森岡仙太）は、スマートハウス専用住宅として「[since asuie（シンセ・アスイエ）](#)」を新たに商品化、11月19日（土）から全国のトヨタホーム販売店を通じて発売します。国内初となる“家とクルマとのエネルギー連携”をはじめとしたトヨタホーム独自の“スマートハウス技術”に、震災以降の家族回帰志向にあわせた“生活提案”を融合させた住宅で、スマートハウスの中枢となるHEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）や太陽光発電、EV・PHV充電器などを標準搭載、スマートハウスとして初めて非常時給電システムを標準搭載しています。

「[since asuie（シンセ・アスイエ）](#)」は、『エコミライの家』（商品の総合名称）として“地球環境に配慮した住まい”づくりを進めるトヨタホームが、環境に配慮した家と、今後普及すると思われるEV（電気自動車）・PHV（プラグインハイブリット車）を連携させ、家もクルマもCO₂排出「ゼロ」を目指す“新しい時代の新しい価値観を持った住まい”として開発したスマートハウスです。

HEMSをはじめとした搭載機器は全てオリジナル技術で、トヨタグループの技術が活かされています。家・クルマ・情報の中核技術を全てグループ内でもつため、家とクルマがスムーズに繋がったスマートハウスとなっています。

トヨタホームのスマートハウスは、①家とクルマのCO₂削減実現により「環境」に貢献する②電力のピークシフトをはじめとする「節電」に役立つ③非常時に「安全・安心」をもたらすものと考えています。「[since asuie（シンセ・アスイエ）](#)」は、エネルギー・CO₂の削減だけでなく、より「快適で便利」な生活実現のため、うれしい快適・便利機能も充実させています。

商品名「[since asuie（シンセ・アスイエ）](#)」は、「明日（未来）の住まいを実現した家」を表現しています。

▶スマートハウス「since asuie（シンセ・アスイエ）」のご紹介ページはこちらから

「since asuie（シンセ・アスイエ）」の特徴は下記のとおりです。

【1】スマートなデザイン

「since asuie（シンセ・アスイエ）」の建物としての特徴は、まず、スマートハウスにふさわしいスタイリッシュなデザインとしていることです。

屋根はフラット屋根を採用、建物は正面に「ファサードアイコン」（建物正面に必ずL字を配したデザイン）を配置して、すっきりとした印象の外観デザインとしています。ファサードアイコンは、家に陰影感を与える効果があるほか、日射遮蔽機能も持ち、視線制御の役割も果たします。

インテリアデザインでは、プレーン～ナチュラルスタイルの木目感、自然感のあるインテリ

アに加え、これらとの相性がいいシンプルな和室も訴求。室内は、コンパクトながら広さを感じ、家族がつながる大空間としています。

【2】ツナガル生活提案 ～家族がツナガル。未来とツナガル。～

「since asuie (シンセ・アスイエ)」は、「家族のつながりを感じる暮らし“Real Smart Life”」を開発コンセプトとしました。新たに開発したスマートハウス技術と、日本の家が本来持つ、家族や地域とのつながり、みんなで共有し合うという文化を融合させる、という考え方です。この考え方を「～家族がツナガル。未来とツナガル。～」というキーワードにまとめ、①Smart (最適) ②Communicate (共有) ③Future (将来) —3つのテーマで「つながる暮らし」を提案しています。

- ①Smart (最適) : 視線が通る設計で「ひとつながりの大空間」とし、コンパクトながら広さを感じ、家族がつながる大空間の暮らしを提案。
- ②Communicate (共有) : 家族が好みの場所において、お互いの存在を感じられる設計とし、スペースの使い方は自由にアレンジができます。
- ③Future (将来) : 家族の成長に合わせて間取りを変えることができ、「HEMS」は将来の変化に添って機能が拡張できます。

【3】「スマートハウス」の機能

スマートハウスとしての設備は、太陽光発電、オリジナルエコキュート、熱交換型換気システム「Pure24セントラル」などのエコアイテムに加え、HEMS、EV・PHV 充電器、非常時給電システム、キーをかざすだけで施錠・開錠ができ HEMS とも連携する電気錠「ラ・ロック」などを標準で搭載しています。また、家庭用蓄電池などをオプションで用意しています。

□「見える化」と「制御」でエネルギー利用を最適化

スマートハウスとして中心的な役割を果たすのは、「見える化」と「制御」を行う HEMS です。家中のエネルギーの使用状況が HEMS の液晶モニターに分かりやすく表示されます。太陽光発電の発電状況や蓄電池の蓄電レベル、部屋ごとの電力使用状況などが一目で確認でき、トイレの電気や書斎のエアコンの消し忘れを消すといった省エネ行動を促進し、電気代を節約することができます。

「制御」で HEMS は大きな力を発揮します。エネルギーの効率的な使い方を最適にコントロールするからです。例えば、安い深夜電力で蓄電池に蓄えた電気を翌日の昼間に効率よく使う。それによってピークシフトが行われ、昼間の電力負荷が高い時間帯の買電を抑制できます。

□車とのエネルギー連携を実現

「since asuie (シンセ・アスイエ)」の画期的な点は、クルマとのエネルギー連携を可能にしたスマートハウスであることです。過度の電力集中をさけるピークカット機能やタイマー充電といった「充電制御」を実現。家の中にいながら、HEMS によってガレージにある EV・PHV の充電状況や走行可能距離を確かめることができるほか、HEMS からの遠隔操作で、エンジンをかけることなく、家の電力を使って冷房をオンにすることなども可能になります。

□非常時給電システムで「安全・安心」

「since asuie (シンセ・アスイエ)」には非常時給電システムを備えています。災害時、停電でも生活に最低限必要な電力を外部電源から得られるもので、蓄電池のほかトヨタ自動車㈱のエスティマハイブリッド (AC100V コンセント車載車) を外部電源として利用することが可能です。

【主な機器の仕様】

- ・家庭用蓄電池の容量：8.4 kWh（使用時の蓄電量は5 kWh）
- ・EV・PHV 充電器（自立型と壁付型を用意）：AC200V 16A
- ・非常時給電システム：入力AC100V 15A以下

□販売目標：300戸（2012年度）

□価格：3.3㎡当たり62.5万円（税込）（税抜59.5万円）～

※代表プランで3.3㎡当たり63.3万円（税込）（税抜60.3万円）。

外観例

【東西入】



【南入（メイン外観）】



【北入】



代表プラン例



延床面積：129.24㎡

以上

《本件に関する問い合わせ先》

※本内容はニュースリリース時点の内容となります。

ニュースリリース以後の内容は、トヨタホーム各販売会社へご確認下さい。

▶ [展示場一覧へ](#)